

令和2年度 第4回介護保険に関する会議 意見一覧

議事等	意見
<p>第8期介護保険料について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢者が増えていく中、上昇する給付費に必要な金額であるということだろう。保険料額が低いに越したことはないが、6,540円はやむを得ない数字ではないか</li> <li>○年金しか収入のない高齢者にさらに負担がかかるのが気になる。また、高齢化が進むことで現在働いている人たちにもしわ寄せがいくことになる。介護保険料の値上げは市民全員の理解と協力が不可欠であるため、十分な説明と理解を得るようにしてほしい</li> <li>○前期の保険料の上がり幅（+390円）を考慮しても、今回（+450円）が大きな上がり幅ということではないので、これくらいは仕方がないのではないか</li> <li>○高齢化が進んでおり、介護保険料が上がることは仕方がないと思うが、利用者の負担が過重になっていないか実態把握に努めてほしい</li> <li>○保険料の段階設定について、一定以上の所得がある方に相応の負担を求めるのは仕方ないと思うが、市民の理解と協力を得るため十分な説明が求められる</li> <li>○高所得層ほど介護保険サービスを使っていない傾向にあり、保険料段階の見直しによる負担増を求めるには、丁寧な説明に加え、一般高齢者向けの予防サービスの充実が必要である</li> <li>○高齢者の保険料が上がることで、できるだけ若い世代に負担をかけずに制度が維持されることが望ましい</li> <li>○保険料段階については、自分がどの段階にいてどの保険料率になるのかわかりにくい</li> <li>○被保険者の中で、年金額の少ない（資産は多い）元自営業者や、年金額の多い（資産は少ない）元サラリーマンの間で不公平感がある。前者は社会保険料の負担が少なく、後者は多くなってしまう</li> <li>○市内高齢者の間にも、居住している地域予防サービス等の享受に不公平感がある。近くに市民センター等の公共施設が少ない場所では、気軽にサービスを受けられないこともある</li> </ul>
<p>議事以外 (介護保険制度全般)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○末期のがん患者に対する要介護認定について、認知力の低下等がなければ要支援と判定される。制度上仕方ないことかもしれないが、こうした方を要支援ではなく要介護認定にするようにできないか</li> <li>○感染症や災害に対する備え等、事業者の体制強化について一層の指導を支援をお願いしたい</li> <li>○居宅、地域密着型サービスと施設サービスの利用単価にかなりの差があり、その配分を変えていかなければならないと思う</li> <li>○介護報酬改定については、一律ではなく必要などところに行き渡るような内容にしてほしい</li> </ul>